令和6年度 つくば国際大学東風高等学校自己評価表

評価項目	具体的目標	具体的方策	評価		次年度への主な課題
進路指導部	1 自分の将来設計・将来展望の中に建設的に上級学校等への進路を位置付け、自分の将来に対して夢や希望が持てるよう指導する。	校内外での進路講演会や、進路相談会を企画し、自己の将来を考えるきっかけを用意する。また、医療系については、特色ある行事を計画し、職業感を持たせる。	A	B	<p>昨年度の反省を生かし、医療系の模擬試験・校内体験等、予定通り実施できた。次年度に向けては、感染症を理由に実施できなかった病院体験実施を目指す。</p> <p>放課後を利用した進路行事が計画より少なかったため、放課後の活用に力を入れる。</p> <p>学年独自の進路行事については、各学年の進路指導部教員が中心になり、企画出来ていた。次年度もこの連携は続けていく。</p>
	2 キャリアガイダンス、キャリアカウンセリング、進路別見学会、進路講演会、大学出前授業などの機会を提供し、進路(進学・就職)に対するしっかりとした動機付けを図る。	外部企画に丸投げすることなく、状況に応じた進路行事を企画する。今年度については、放課後の時間を活用したミニ入試説明会を個別の大学に来ていただき入試説明会を計画。	B		
	3 個々の生徒の進路希望、学力の実態及び今後の発展性などを常に把握しながら、より上位の進路目標を設定させ、その達成に向け全力を傾ける。	年間計画以外で、各学年独自の進路企画を行う。各学年に必要な内容を学年部と協議し、LHRを利用して行う。また、意識付けを目的とした行事を1,2年生で企画していく。	A		